

## 令和7年度 キッズフロンティアII番館(放課後等デイサービス)自己評価総括表

○保護者評価実施期間	2026年3月1日			～	2026年3月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48		(回答者数)	22		
○従業者評価実施期間	2026年3月1日			～	2026年3月16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5		(回答者数)	5		
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日						

### ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが「今日も来たい」と思えるよう、活動の楽しさと居心地の良さを大切に環境づくりに取り組んでいます。	スタッフがお子さまの好みや得意なことを把握し、活動の中で自然に達成感を味わえるよう声かけや場面設定を工夫しています。	お子さまの「好き」をさらに深められるよう、希望を取り入れた選択活動の幅を広げていきます。
2	保護者への連絡を丁寧に行い、家庭と連携しながらお子さまの成長を共に喜べる関係づくりを心がけています。	送迎時の対話や連絡帳を活用し、その日の様子や頑張りを具体的に伝えることで保護者の安心感につなげています。	定期面談の機会を充実させ、中長期的な目標についても保護者と共有・共有できる体制を整えます。
3	異なる学年のお子さま同士が関わり合える活動を意図的に設け、社会性や協調性を育む機会を提供しています。	上の学年のお子さまが下の学年をサポートする場面をつくることで、自己有用感や責任感の芽生えを大切にしています。	異年齢交流のプログラムをさらに体系化し、継続的に社会性を育む活動として位置づけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	帰宅時間が重なる夕方の時間帯に業務が集中し、スタッフ一人ひとりへの負担が偏りやすい状況がある。	夕方の送迎・記録・保護者対応が同時進行になることが多く、業務の優先順位の判断がスタッフ個人に委ねられている。	夕方の業務フローを見直し、役割分担を明確化することでスムーズな対応ができる体制を構築する。
2	学校からの情報共有が限られており、お子さまの学校での様子を把握した上で放課後支援につなげることが難しい場面がある。	学校との連絡手段や頻度が統一されておらず、担任との関係性によって情報量に差が生じやすい。	学校との連携窓口を担当者制にし、定期的な情報交換の仕組みをつくることで一貫した支援につなげる。
3	個別支援の目標が日々の活動の中で意識されにくく、計画と実践のつながりが希薄になることがある。	支援計画書の内容をスタッフ全員がすぐに確認できる環境が整っておらず、個別目標の共有が不十分な場面がある。	支援目標をまとめた一覧表を掲示し、毎日の活動前に確認できる習慣をつくることで計画と実践を結びつける。